

## 延ばそう市電 鉄道は安心・地図にも載り

### 札幌市路面電車の概略史

2024年8月10日  
山鼻第二町内会・札幌LRTの会 永喜多宗雄

- ・明治4年、北海道の首都を函館から札幌へ。
- ・明治13年鉄道開通、都心創成川沿から駅前通に。
- ・明治42年、「札幌石材馬車鉄道」が石山通の穴の澤・南2条西11丁目（後に市電車庫）間に開通。建築用軟石・木材、後には豊羽鉦山の鉦産物も運搬。客車は12人乗り。1区3銭。1日3往復。
- ・明治44年、「札幌市街鉄道（株）」設立以来社名変更が続く。大正5年「札幌電気鉄道（株）」とし、馬車鉄道から路面電車への転換を目指す。
- ・大正6年、「札幌電気軌道（株）」に社名変更。
  
- ・大正7年（1918）8月12日、中島公園の「開道50周年記念博覧会」に合わせ、路面電車を開業。
- ・南一条線の都心部、苗穂線の一部、停公線（札幌駅前～高女前）の3線。図中紫色、5、3本。
- ・尚、第一次大戦勃発し、当初予定の英国製の標準軌車両と線路がドイツの潜水艦出沒の為輸入出来ず、急遽名古屋鉄道の中古狭軌車両を移入。レールは米国から中古品を輸入。
- ・しかし、開業予定の8月1日には間に合わず、12日からの運転に。札幌の市電が狭いのと博覧会に間に合わなかったのはドイツのせい！？
- ・展覧会は大成功であった。入場者数142万5千人。当時全道人口220万人、札幌市人口10万人弱であった。来場者に会場隣地の山鼻の良さが知れ渡り、山鼻発展の契機ともなった。
- ・乗車料金は片道6銭。一日何往復？
- ・大正9年頃東三丁目道路に路線が設置されたが、

- 撤去時期も不明。札幌電気軌道（株）時代の為市にそれらの資料が引き継がれていない為？
- ・大正12年、山鼻線開業時は今の「中島公園通」は「狐小路」であったが、何故か1年で「公園通」に。「狸小路」は92年ぶりに復活したのですが？
- ・昭和2年（1927）12月1日、「札幌電気軌道（株）」の事業を譲り受け「札幌市電気局」発足。ここに市営電車営業の開始。車両63両、路線16キロ余り、乗客数3万9千人/日。乗車賃は？
- ・昭和5年、市営乗合自動車（バス）事業も開始。路面電車を基幹に、バスを補助機関との交通網整備は戦後も受け継がれた。
  
- ・昭和6年、山鼻西線が単線開通。この年の戯れ唄「行くか薄野、帰るか山鼻、ここが思案の十字街」。この時延伸を望む住民らが沿線用地を寄付。
- ・昭和7年、西五丁目鉄道跨線橋完成、独立線であった鉄北線が接続。
- ・昭和9年、初めての女性車掌を採用。
- ・昭和12年、第二次世界大戦はじまり、路線延伸は中止。だが月寒聯隊への延長計画はあった。
- ・昭和17年、電力節減対策として朝夕に急行運行。
- ・昭和20年、延伸中止のみならず鉄資材提供の為、中島公園線を単線とした。又停留所の統廃合、急行電車の廃止も。学徒勤労報国隊を受け入れ高女生による車掌も。
  
- ・昭和22年、札幌交通事業所を札幌市交通局に。
- ・昭和23年、市電初のボギー車運転開始。
- ・昭和27年の計画図には鉄北線北12条付近から現東区役所経由、苗穂線東7丁目へのカギ型線と北五条線桑園駅通と南一条線西十五丁目を結ぶ計画があった。
- ・昭和29年、豊平線、鉄北線の一部と昭和22年

- から始めた山鼻西線が全面複線化なる。
- ・昭和33年、藻岩山ロープウェイ開業。
- ・昭和33年、麻生すすきの間に架線のいらぬ日本初の路面ディーゼルカーが運転された。
- ・昭和39年、新琴似駅までが市電延伸の最後だが、市へは各方面から更なる延長が陳情されていた。
- ・昭和40年代、路面電車とバスだけではさばけず、幹線を地下鉄化。昭和46年地下鉄南北線、昭和51年地下鉄東西線、昭和63年東豊線開通。
- ・路面電車に加え地下鉄とバスによる都市交通も。地下鉄終点駅は地域ターミナル商業センターに。
- ・市電路線が逐次廃線へ。路面電車は変形C型路線となり、かろうじて一部のみ残存。
  
- ・平成27年、上田市長の公約に基づき路面電車線ループ状に接続。西四丁目と狸小路は歩道から直接乗降できるサイドリザベーション方式に。
  
- ・定鉄は大正2年の洪水の為、豊平川の山鼻側敷設予定を豊平側へ変更。運行開始は大正7年。
- ・地下鉄幌平橋駅は当初行啓通電停に。行啓通商店街が反対。その場合山鼻線は存続できたか？
  
- ・令和6年、現市長は路面電車に代へ開発中の水素ガスエンジンバスを採用し、西四丁目等で乗り換え札幌駅、苗穂駅へ延伸予定と発表。増々増加する高齢者・観光客に不便を強いる。
- ・JR東は水素ガスエンジンの車両を開発中。札幌市も協力しては？
- ・路面電車延伸中の広島市、新設の宇都宮市は直接JR駅内に乗入。札幌市へ強く再考を求めます。
- ・世界・日本の都市はバスから路面電車による延伸に向かっています。世界では450もの都市に路面電車が走り、増加中です。

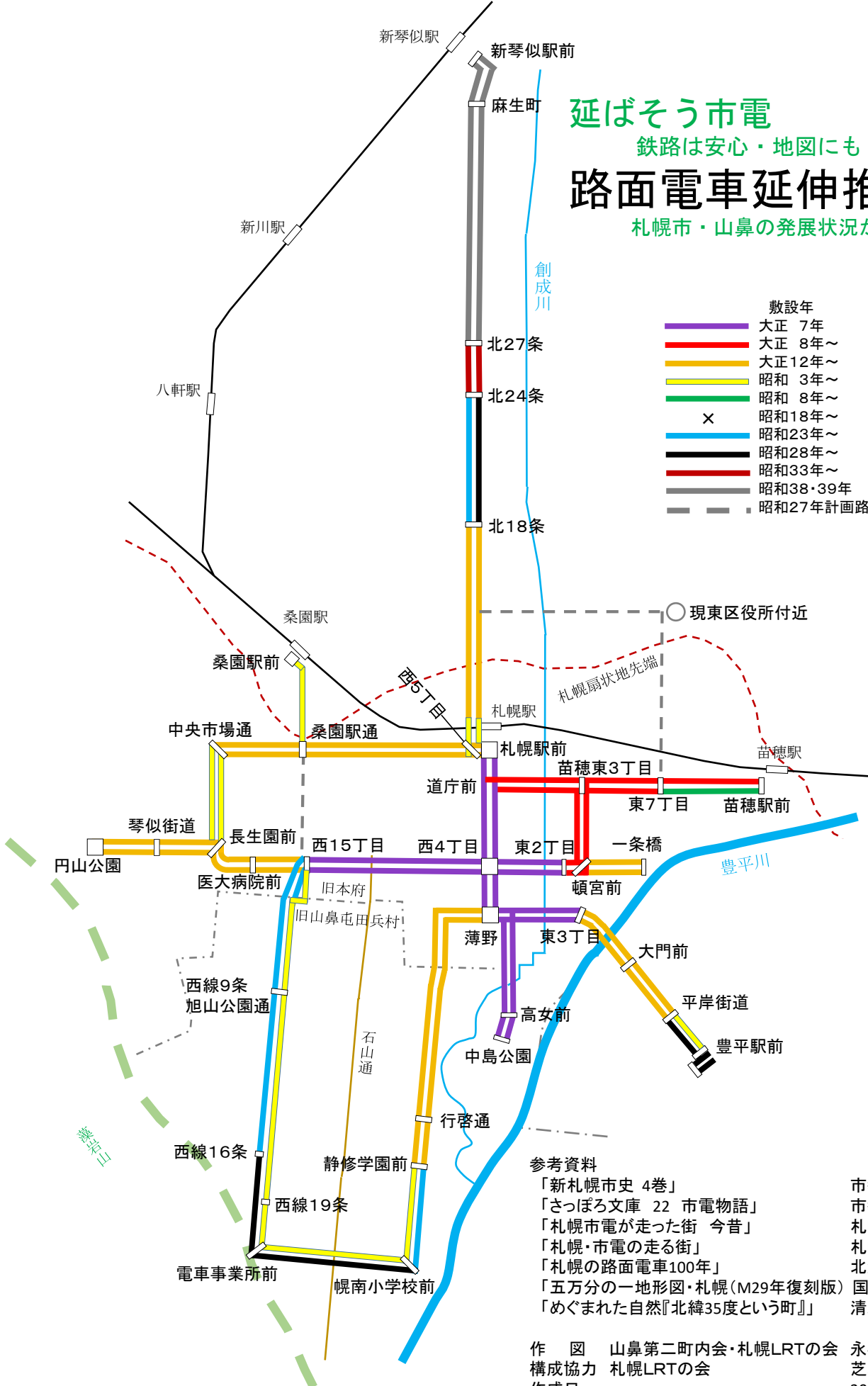
# 延ばそう市電

鉄路は安心・地図にも

## 路面電車延伸推移図

札幌市・山鼻の発展状況がわかります

- 敷設年
- 大正 7年
  - 大正 8年～
  - 大正 12年～
  - 昭和 3年～
  - 昭和 8年～
  - × 昭和 18年～
  - 昭和 23年～
  - 昭和 28年～
  - 昭和 33年～
  - 昭和 38・39年
  - 昭和 27年計画路線



参考資料

- 「新札幌市史 4巻」
- 「さっぽろ文庫 22 市電物語」
- 「札幌市電が走った街 今昔」
- 「札幌・市電の走る街」
- 「札幌の路面電車100年」
- 「五万分の一地形図・札幌(M29年復刻版)」
- 「めぐまれた自然『北緯35度という町』」

市教育委員会  
市教育委員会  
札幌LRTの会編  
札幌LRTの会編  
北海道新聞社  
国土地理院  
清水書院

作 図 山鼻第二町内会・札幌LRTの会 永喜多宗雄  
 構成協力 札幌LRTの会 芝木儀夫  
 作成日 2024年8月13日